

身近な課題をプログラミングで解決しよう

1. 課題を探そう

課題とは「困っていること」。自分の事だけでなく、家族やお友達、地域の困っていることを見つけよう。困っていることはやりたいのことの反対でもあるよ。例えば、「もっとたくさん遊びたい」というのは、「遊ぶ時間が少なくて困っている」ということだよ。

例：お母さんは、時々ゴミを出す日を忘れてしまう。

絵を描くのが好きなんだけど、周りに絵が好きな友達がいない。

図書館にどんな本があるのか、探すのが大変。

ゲームの時間を守れなくて、お母さんにいつも怒られる。

2. どうすれば課題を解決できるかな？

解決方法を具体的に考えよう。

例えば、「ケンカしなければいい」ではなくて、ケンカをしないためにはどうすればよいのかを考えるよ。ルールを決めるなら、「決まった時間になったら、相手に渡す」というように具体的に考えよう。

3. プログラミングがどんなふうに役立つかな？

プログラミングが使える場面を考えよう。全部をプログラミングで解決する必要はないよ。「決まった時間になったら、音と光で教えてくれる」をプログラミングで、「相手に渡す」はそのまま「手」で渡すでも大丈夫。

4. プログラミングでできることの例

- ・ AI：人工知能で、人間のように考えることができる
- ・ 情報共有：インターネットで、世界中の人と情報を共有する。
- ・ 写真や動画：決まった場所、時間で写真や動画を撮る。
- ・ センサー：GPS、温度、明るさ、重さ、距離、人のいる・いない
- ・ マッチング：欲しい人と、あげたい人をつなげる。
- ・ VR：仮想空間。ゲームの世界のようなデジタル世界に現実を持ち込む。
- ・ 機械の制御：自動運転、扉の開け閉め、スイッチのON/OFF
- ・ SNS：LINEやTikTokなど。友達が集まったり、情報発信する。

身近な課題をプログラミングで解決しよう

1. 課題を考えよう

課題とは「困っていること」。

2. 解決方法を考えよう

方法だから、具体的に書いてね。

3. プログラミングが使える場面を考えよう

解決方法を実現するのに、プログラミングが使える場面を考えよう。

身近な課題をプログラミングで解決しよう

1. 課題を考えよう

課題とは「困っていること」。

2. 解決方法を考えよう

方法だから、具体的に書いてね。

3. プログラミングが使える場面を考えよう

解決方法を実現するのに、プログラミングが使える場面を考えよう。